

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



ソウル事務所

「日本の地域とことば」で宮崎県の魅力と方言を紹介

1月16日、国際交流基金ソウル日本文化センターの「日本の地域とことば」講座で、クレアソウル職員が、日本語を学んでいる韓国人約50人を対象に、宮崎県の地域の魅力と方言について講演しました。

講演では、焼酎出荷量などの「宮崎県の日本一」や、宮崎県美郷町に語り継がれている「百済王の伝説」といった宮崎県と韓国のつながりなどを紹介するとともに、宮崎県の方言について実演を交えて紹介しました。

聴衆の反応も良く、講演後には、宮崎県の木材に関する質問が挙がるなど、興味深く聞いていただけた様子でした。

また、アンケートでは「宮崎の特色について詳しい説明があつてよかった」、「方言がとても印象的だった」との回答があり、少しでも宮崎県へ興味を持ってもらうことができたと幸いです。



北京事務所

福岡県・江蘇省友好提携 25 周年、友好提携関係のさらなる発展を

福岡県と中国・江蘇省は、1992年に友好提携を締結し、環境、経済、青少年、文化・芸術など幅広い分野で交流を行っています。

2017年12月22日、小川知事と呉政隆（ご・せいりゅう）省長は、江蘇省で、友好提携25周年を機に両県省のさらなる発展と連携強化を目指す協議書に署名しました。

知事は、「この協議書を両県省の友好関係が新しい歴史を刻むスタートにしたい」とあいさつしました。

また、同月24日には、蘇州市で福岡県・江蘇省友好茶会を開催しました。会場では、日中双方の伝統楽器の演奏とともに、福岡県側からは八女茶が、江蘇省側からは中国十大銘茶として有名な碧螺春（へきらしゅん）がそれぞれ振る舞われました。



協議書に署名する小川福岡県知事（左）と呉江蘇省省長



シンガポール事務所

タイにて「地域間交流促進プログラム」を実施!!

1月13日から20日にかけて、訪日観光客数および日系企業の進出件数がASEAN第1位のタイにて地域間交流促進プログラムを実施しました。

例年、同プログラムは都心部で実施していましたが、今年度は首都バンコクだけでなく地方都市スコタイも訪問しました。スコタイは、タイ族による初めての王朝が築かれた場所であり、今でも多くの遺跡が残っています。それらの観光資源を生かした観光プロモーションやスコタイの伝統工芸品である陶磁器の販路拡大にも力を入れており、現在、多くの日本の自治体に取り組んでいる分野と共通点の多い都市です。スコタイ県自治体訪問や各施設の視察では、活発な意見交換が行われ、今後の地域間交流の契機となることが期待されます。



スコタイで陶磁器の制作現場を視察



シドニー事務所

日豪の姉妹都市関係を中心に観光 PR

2017年12月4日から6日にかけて、シドニーにおいて、ニューサウスウェールズ州地方自治体協会年次総会が開催されました。総会では地区の再開発に関するケーススタディーや住宅の供給など、地方自治体の関心の高いトピックに関する講演があり、ニューサウスウェールズ州全土から800人を超える首長や議員、自治体職員等が参加しました。

クレアシドニー事務所はブース出展し、同州の自治体と姉妹都市関係にある日本の各自治体を中心に観光PRをするとともに、姉妹都市を探している日本の自治体や日豪の姉妹都市関係を紹介しました。来場者から反響があり、関心の高さがうかがえました。





パリ事務所

「創造性」をテーマにした ストラスブール自治体幹部職員会議に出席しました。

2017年12月6日から7日にかけて、全国地方公務員センター（CNFPT）の自治体幹部職員養成機関である全国地方行政研修所（INET）主催のストラスブール自治体幹部職員会議（EST）が、開催されました。この会議はフランス国内の地方自治体幹部向けのマネジメント講習会で、1,100人を超える関係者が参加しました。今年の会議は「創造性」をテーマに、「横断的」、「参加」をキーワードとした分科会が多く、また会議の形式も参加型となっていたことが特徴といえます。クレアパリ事務所も会議に出席し、出席者と「横断的に行動するとはどういうことか」や「市民を公共サービスの中心に据えるためにはどうしたらよいか」などについて意見交換を行いました。



全体会議における参加者からの質問の様子



ニューヨーク事務所

全米最大級の旅行博で日本各地の魅力をPR！

1月26日から28日まで、来場者が3万人を超える旅行博「NY Times Travel Show 15th Anniversary」が、ニューヨーク市マンハッタン区で開催されました。クレアニューヨーク事務所は、同イベントにブースを出展し、職員が派遣元自治体のPRを行いました。さいたま市大宮盆栽美術館をPRするために、ワシントンD.C. 国立盆栽・盆景園の協力で、アメリカ人の盆栽職人によるデモンストレーションを行ったり、滋賀県の名産品「近江の茶」の試飲を提供したりするなど、来場者の注目を集める工夫を凝らした展示を行いました。今回は、米国にある自治体の事務所や地方銀行の駐在員等もブースに加わり、日本全国各地の魅力を伝えることができました。



ロンドン事務所

公共図書館での家族参加型イベントとデジタル教育を考える

1月25日、英国イングランドの公共図書館における家族参加型イベントとデジタル教育に関する会議が、ロンドン市カニングタウン区立図書館で開催されました。会議には市内から約80人の図書館員が集まり、ワークショップ形式で各図書館における事例や課題等についての意見交換が行われました。ふくろうの絵本を手本に、封筒、色紙等を使ってふくろうを工作するイベントやタブレット端末を使った小学校低学年向けのプログラミング教室の事例などが紹介されました。ワークショップの講師も市内の図書館員が務め、イベント計画の立て方、予算の獲得、デジタル教材の教えやすさなど、図書館員ならではの視点から活発な議論が展開されました。



ワークショップで紙のふくろうを工作

JET プログラム事業部

新規任用団体訪問を実施

JET プログラムをより良く活用していただくため、クレア職員が新規任用団体を訪問させていただき、ALTの授業参観、CIR・SEAの業務視察を実施し、JET参加者・JETプログラム担当者双方との面談を通じて、アドバイスや有益な情報を提供することで任用団体のフォローアップを行っています。

新たに任用されたJET参加者および任用団体の受け入れ後の状況を知る非常に貴重な機会であり、課題等の解決策について議論を交わしました。



福井県大野市での面談

交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナーを実施しました！

英国の自治体職員等8人を迎え、1月8日から1週間、東京都と静岡市においてセミナーを実施しました。高齢者対策をテーマとし、富士山型とした市の健康長寿づくりの施策体系、独自の地域包括ケアシステムなど、静岡市ならではの高齢者施策を知る有意義な機会となりました。

参加者は本テーマに携わる方ばかりであり、視察先では興味深く質問するとともに、先進的な取り組みを自国にも取り入れたいと希望するなど、今後の交流継続に向けた積極的な意見交換がなされました。



世界文化遺産の三保松原で記念撮影